

# まこえとことば通信

令和5年12月  
小金井第二小学校  
こだま学級  
Tel.042-385-3327

早いもので、今年も残りひと月となりました。2学期、在籍校の学芸会や展覧会、学習発表会で頑張った子供たち。「前回の学芸会では苦手な発音がたくさんあり、心配しながら見ていましたが、今年は安心して参観できます！」と保護者の方から言っただき、子供たちの成長をうれしく感じます。最後の卒に通級してくる子供たちが帰る頃には、日も落ちて暗くなり始めています。在籍学級での勉強に加え、それぞれの目標に向かってこだま学級でも頑張る子供たちに、拍手を送りたいと思います。



そして、通級の送迎や宿題への協力など、通級を支えてくださった保護者の皆様、お忙しい中、通級へのご配慮や連絡帳へのご記入など、通級を支えてくださった在籍校の先生方にも、感謝申し上げます。3学期も引き続き、家庭、学校、こだまで連携しながら、子供たちの成長を見守っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## <指導経過報告書>

学期末、在籍学級の担任の先生を通して、各家庭にこだま学級の『指導経過報告書』をお渡ししています。内容をご確認の上、コメントをお願いいたします。

3学期の通級初日に、こだま学級の担当者に直接お渡しください。

※相談通級の場合は、指導経過報告書はありません。

## 12月～3月の予定

- 12月 5日(火) 2学期個別指導終了・以後保護者面談期間
- 6日(水) 全体グループ学習(15:15~16:30) 受付15:00~
- 11(月) きこえグループ (15:15~16:30)
- 13(水) 吃音グループ (15:15~16:30)
- 1月10日(水) 3学期通級開始
- 2月 7日(水) 小金井教育の日のため午後通級なし
- 12日(月) 振替休日
- 23日(木) 天皇誕生日
- 2月29日(木) 入級委員会(午前)
- 3月 5日(火) 3学期個別指導終了・以後保護者面談期間
- 6日(水) 全体グループ学習(15:15~16:30)
- 11日(月) きこえグループ (15:15~16:30)
- 13日(水) 吃音グループ (15:15~16:30)



## 今月の特集

## 本を楽しむ 本で遊ぼう

2学期こだま学級の保護者会は、元本校図書館補助員、現在児童書研究会「ノエル工房」代表である和中恵子先生による講演会でした。本の魅力や、本をきっかけに子供と豊かな時間を過ごすためのヒントをたくさん伝えていただきました。一部ですが、ご紹介させていただきます。



☆「大ピンチずかん」 鈴木のりたけ作 (小学館)

最近出版された本の中で先生が目にした本で、たくさんのお店大賞を受賞しています。様々なピンチの「なりやすさ」を星で表し、ピンチをどう処理したりしたかが書かれています。のりたけさんも、ヨシタケシンスケさんもグラフィックデザイナー出身です。絵本にとって、手にしてみたいくなる魅力的な装丁は大切で、グラフィックデザイナーという経験が生きています。のりたけさんの本では「しごとば」シリーズや「しごとへの道」(ブロンズ新社)もご紹介いただきました。

☆「カラーモンスター きもちは なにいろ？」 アナ・レナス作 大友剛訳 (永岡書店)

作者にとって絵と文を手掛けた最初の作品ですが、世界で200万部も売れているそうです。当日は立候補してくださったお父様の読み聞かせの後、参加者全員が紙に蓋つきの瓶を描き、自分の今の気持ちを色で表現して瓶を塗りました。様々な形、色、塗り方の瓶が完成しました。絵本は、読み手側の気持ちも大事。自分が怒っているときに本は読まないほうがいいとご助言いただきました。

☆「わたしのそばできいて」 リサ・パップ作 菊田まりこ訳 (WAVE出版)

こちらにも保護者の方に読んでいただきました。読む人の気持ちに目を向けた絵本です。主人公は読むのが苦手な女の子ですが、図書館の犬に本を読んであげているうちに……。アメリカには、子供が動物に本を読み聞かせるというプログラムがあるそうです。評価するのではなく、黙ってそばに寄り添って聞いてくれる相手がいたら、安心して読むことができますね。

☆「干したから・・・(ふしぎびっくり写真えほん5)」 森枝卓士写真 (フレーベル館)

☆「チリメンモンスターをさがせ！」 きしわだ自然資料館・自然友の会・日下部敬之監修(偕成社)

☆「どこからきたの？おべんとう」 鈴木まもる作・絵(金の星社)

☆「にっぽんのおにぎり」 白央篤司(理論社)

「本を読むのにふさわしくない部屋はどこですか？一台所。でも、そんな台所にふさわしい本があるんです」との和中先生からの投げかけから、食べ物関連の本を数冊ご紹介いただきました。子供の間ではやっている「OOカード」を参考に「はしもんカード」を作成し、乾物の特徴をまとめてみては？そして、是非、実際に戻して食べるころまでやってくださいとのこと。台所に地図を貼って、食材がどこから来たのか確認してみるのもいいですね。また、ちりめんじゃこに混じった生き物を調べるのに図鑑学習が盛んになった時期がありました。調べ学習へと誘うには、大人も、知らない世界を子供と一緒に学ぶ、考えるという姿勢が大事だとご助言いただきました。

☆「100円たんけん」中川ひろたか文 岡本よしろう絵(くもん出版)

財布に100円を入れて何が買えるか買い物に行くお話。流通について知ることができます。百円で買えるお肉はどれくらい？野菜は？ケーキは？他に「おかねをつかう！生きるのにかかせないお金のなし」「おかねをかせぐ！」シンダース・マクレオド作・絵(岩崎書店)もご紹介いただきました。

この他にも、写真科学絵本「ひとしずくの水」ウォルター・ウィック(あすなろ書房)や「もしも絶滅した生物が進化し続けたなら if の地球生命史」土屋健著(技術評論社)、「オスメスずかん どっちがオス？どっちがメス？」今泉忠明監修(学研プラス)等々、たくさんご紹介いただきました。

最後に、どんな本を読ませたらいいかとよく質問を受けるのですが、「ダメな本なんてありません。思わぬ本がピンと合うこともあるし、親子でも好みは違う。今興味がわかなくても、将来興味をもつこともある」とおっしゃっていた先生の言葉が印象的でした。

是非、お子さんと一緒に、本を通して新しい世界への扉を開けてみてください。